



2018年4月5日

「TSUBASAアライアンス」への北越銀行の参加について

千葉銀行（頭取 佐久間 英利）、第四銀行（頭取 並木 富士雄）、中国銀行（頭取 宮長 雅人）、伊予銀行（頭取 大塚 岩男）、東邦銀行（頭取 北村 清士）および北洋銀行（頭取 安田 光春）は、2018年4月5日（木）、「TSUBASAアライアンス」に北越銀行（頭取 佐藤 勝弥）が新たに参加することに合意しました。

「TSUBASAアライアンス」は、2015年10月に「TSUBASA金融システム高度化アライアンス」として千葉銀行、第四銀行、中国銀行の3行により発足した広域連携の枠組みです。2016年3月には伊予銀行、東邦銀行、北洋銀行、そして本日、北越銀行が加わったことで参加行は7行となります。これまで連携の領域が順調に拡大していることから、今般、正式名称を変更したものです。

7行は、広域連携のメリットを最大限活かした戦略的アライアンスを一層加速させ、お客さまへの付加価値の高い金融サービスの提供等をつうじて地域社会の持続的な成長に貢献してまいります。

<これまでの主なアライアンス連携施策>

カテゴリー	内 容
T&Iイノベーションセンター（共同出資会社）による協働	<ul style="list-style-type: none"> ・フィンテックベンチャー向けビジネスコンテストの実施 ・オープンAPIに対応した「TSUBASA FinTech共通基盤」の構築
金融サービス高度化	<ul style="list-style-type: none"> ・シンジケートローンの共同組成 ・相続関連業務での連携 ・顧客紹介制度の創設 ・事務制定・改廃業務、事務センター集中業務の共同化 ・各種サブシステムの共同化
グループ会社連携	<ul style="list-style-type: none"> ・アセットマネジメント業務での連携 ・証券子会社による世界銀行債の共同販売
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・シンガポール・上海・バンコクでの顧客向けセミナーの共催 ・セントラル・パシフィック・バンク（米国・ハワイ州）との業務提携

以上